



114  
A 18



亦  
 頃  
 日  
 金  
 銀  
 價  
 直  
 非  
 常  
 昂  
 上  
 ス  
 ル  
 從  
 ヒ  
 物  
 品  
 價  
 直  
 モ  
 動  
 浮  
 沈  
 レ  
 テ  
 定  
 ラ  
 ス  
 其  
 禍  
 害  
 ノ  
 及  
 フ  
 所  
 將  
 サ  
 ニ  
 測  
 ラ  
 レ  
 サ  
 テ  
 ン  
 ト  
 ス  
 ル  
 状  
 勢  
 ア  
 リ  
 今  
 日  
 於  
 テ  
 之  
 ヲ  
 救  
 治  
 ス  
 ル  
 政  
 策  
 ハ  
 正  
 金  
 通  
 用  
 ノ  
 制  
 ヲ  
 設  
 ル  
 一  
 事  
 ヲ  
 除  
 テ  
 復  
 タ  
 他  
 良  
 謀  
 善  
 計  
 ア  
 ル  
 ヲ  
 見  
 サ  
 ル  
 ナ  
 リ  
 願  
 ク  
 ハ  
 非  
 常  
 英  
 斷  
 ヲ  
 以  
 テ  
 是  
 ノ  
 政  
 策  
 施  
 行  
 ノ  
 方  
 案  
 及  
 ヒ  
 其  
 得  
 失  
 利  
 害  
 ハ  
 則  
 チ  
 別  
 冊  
 ニ  
 列  
 擧  
 シ  
 テ  
 進  
 呈  
 ス  
 凡  
 ソ  
 應  
 變  
 ノ  
 政  
 策  
 貴  
 ヲ  
 所  
 ノ  
 者  
 ハ  
 其  
 果  
 決  
 急  
 施  
 ニ  
 在  
 リ  
 今  
 日  
 金  
 銀  
 物  
 價  
 凌  
 動  
 ノ  
 勢  
 タ  
 ル  
 其  
 救  
 治  
 一  
 日  
 後  
 レ  
 ハ  
 則  
 チ  
 一  
 日  
 功  
 績  
 ヲ  
 收  
 ム  
 若  
 シ  
 増  
 添  
 レ  
 一  
 日  
 早  
 ク  
 ス  
 レ  
 ハ  
 則  
 チ  
 一  
 日  
 功  
 績  
 ヲ  
 收  
 ム  
 若  
 シ  
 遷  
 延  
 遲  
 緩  
 レ  
 テ  
 而  
 テ  
 時  
 去  
 リ  
 機  
 失  
 レ  
 社  
 會  
 驚  
 悸  
 轉  
 テ  
 急  
 劇  
 ヲ  
 増  
 サ  
 ス  
 人  
 心  
 向  
 背  
 亦  
 タ  
 或  
 ハ  
 測  
 ル  
 一  
 カ  
 ラ  
 ス  
 是  
 時  
 三  
 當

參議大隈重信

大正十一年四月  
大隈侯爵郵寄贈





リテ假令ニ辛苦經營百方計畫スルモ亦夕遂ニ及リ  
能ハサルヘシ斯ノ如キノ情勢アルカ故ニ別冊ノ政策  
速ニ裁可決行アラントヲ冀望ス若シ是ノ事果シテ決  
行セラルニ至レハ物價次第ニ落下スヘキハ明白ナ  
リ然ラハ則テ今日各官廳ヨリ物價昂貴ノ為ニ要請ス  
ル經費ノ増額ハ悉皆之ヲ減殺シテ可ナリ是政策ヲ施  
行シテ別冊方案中ニ述ルカ如ク外債募集ノ舉アルキ  
ハ各官廳ヨリ金銀ヲ輸出スルノ費途亦夕充分ニ之ヲ  
節減セシメサルヘカラス此他各官廳ノ事務ニ於ル其  
緩急大小ヲ考慮スル片ハ今日猶ホ不急ノ業務ナキニ  
アラス又各官衙ノ間ニ於テ一事層行ノ重複ニ涉ル者  
アリ是等ノ類ハ亦夕此際ニ於テ嚴ニ節減更革セサル  
可ラサルナリ凡ソ是等ノ條件ハ是方案裁可ヲ得ルノ

大正十一年四月廿四日

後ニ於テ更ニ詳悉具申スル所アルヘシ今日金銀物價  
ノ變動其勢ノ急劇ナル禍害ノ慘毒ナルト前段ニ陳述  
スルカ如シ別冊方案速ニ裁可アラントヲ望ム

大正十一年四月廿四日



通貨ノ制度ヲ改メシテ請フ議

貨幣政上ノ事タル維新以來漸次整頓ニ趨キ猶ホ數年  
ヲ經過スルヲ後一昨年末ヨリ昨春ニ至リ一變動ヲ  
現出シテ銀貨非常ニ騰貴シ嗣テ又今日ノ變動ヲ見  
是ニ於テカ世ノ論者或ハ之ヲ紙幣ノ増發ニ歸シ或ハ  
之ヲ投機盛行ノ故トス凡ソ此等ノ事皆以テ多ク變動  
ノ勢燄ヲ煽颺スルニ足レリト雖モ其實因ノ在ル所ヲ  
究迹スルニ復タ唯輸出入ノ不平均依稀舊ニ仍リ許多  
ノ正貨ヲ以テ其差ヲ補フト今ニ至ルマテ絶ニナルニ  
依ルナリ内地殖産ノ實績猶未ク顯ハルニ違ラズ海  
關稅則ノ改正亦タ未ク急施スルニ及ハス而テ一方ニ  
於テハ依然トシテ甚ク正貨ヲ得ルノ道ニ乏シク固有



ノ古金銀愈々隱伏之サニ傾向スルノ勢アリ是則今  
日ノ變動ヲ招來スルノ禍源ニシテ一昨年末及ヒ今日  
ノ變動タル蓋復タ前後同一軌ニ出ルト謂テ可ナリ  
維新以降本邦紙幣専用ノ時世ニシテ別ニ金銀ヲ要  
スヘキ場合ナク唯海外貿易ニ於テノミ獨リ金銀ヲ通  
用セリ故ニ金銀需要ノ範圍ハ單ニ貿易市上ノ一部分  
ニ止リ是部分ヲ除クノ外ハ邦内ニ於テ曾テ金銀ノ多  
少伸縮ヲ感覺スルト無シト云フモ可ナリ故ニ若シ金  
銀ノ輸出入相ニ平均スルトハ有様ナラシメハ假令ニ邦  
内ノ金銀如何ニ乏サナリトモ需用ノ供給ニ超過スル  
ト無ルヘシ果シテ然ラハ金銀ハ紙幣ニ對シテ決シテ  
昂上スルト能ハス紙幣ハ依然トシテ其格位ヲ保テ邦  
内ニ流通シテ些少ノ障礙ヲ見サルヘシ斯ノ如キ時世

ナランニハ紙幣専用ノ制モ亦夕何ノ不可ナレトク有  
ラン是ヲ之レ察セシテ而テ深ク紙幣通用ノ制度ヲ  
罪スルハ抑モ亦夕冤ナク故ニ紙幣通用ハ其制ノ不可  
ナルニアラス唯輸出入不平均ノ時世ニ不利ナルノミ  
然レ氏斯ノ如キ國勢斯ノ如キ時運ニ遭逢スルハ則  
チ其禍源ノ輸出入ヨリ生スルト紙幣ヨリ發スルハ  
拘ラス速ニ應變ノ政策ヲ定テ以テ是禍害ヲ社會ニ布  
及スルヲ防備セサル可ラサルナリ昨春ノ變動ニ當テ  
ヤ國庫ヨリ正貨三百萬圓ヲ市場ニ發布シ以テ能ク一  
時ノ勢敵ヲ減殺セリ是策ノ如キ襲テ之ヲ施為スルハ  
ハ想フニ應ニ若干ノ効驗ヲ收メ得ヘシト雖モ有限ノ  
資ヲ以テ無窮ノ變ニ應スル者は本ト一時ノ方略ニ  
シテ國家永遠ノ長算大策ニアラサルナリ



又今日ノ勢タルヤ金銀獨リ紙幣ニ對シテ昂低上下ス  
ルニ止ラス内地ノ物價モ亦ク乱動浮沈ヲ與ニセリ故  
ニ之ヲ大ニシテハ工商諸業ニ損益危險ノ狀勢ヲ現シ  
又下等生計ノ人民ヲシテ窮苦ノ悲態ニ陥入セシメ之  
ヲ小ニシテハ各官廳ノ經費頗ル不足ヲ生シテ比々其  
増額ヲ要請シ國帑ノ歲計為ニ匱乏ヲ告ルニ至ル凡ソ  
此般ノ狀勢之ヲ前日ノ變動ニ比スルニ其大小輕重固  
ヨリ同日ノ論ニアラサルナリ然則テ其以テ之ヲ救治  
スル所ノ政策亦夕自ラ前日ニ異ナラサルヲ得ス  
時變斯ノ如ク大ナリ紙幣通用ノ制永ク施行スヘカラ  
ス禍源斯ノ如ク深シ一時ノ方略以テ之ヲ醫治スルニ  
足ラス然ラハ則テ今日ノ計タル唯正金通用ノ一事ア  
ルノミ今若シ等閑目計慮シ去レハ正金通用其事甚タ

至難ナルニ似タリ然レモ非常ノ英斷ト非常ノ忍耐ト  
ヲ以テセハ天下何事カ為シ得ヘカラサル者アラシ正  
金通用ノ方案ハ條ヲ逐テ左ニ陳叙ス其利害得失ノ如  
キハ末段ニ於テ更ニ之ヲ詳論スヘシ







九拾貳旁半ノ賣價トヲ以テ貳百四拾万旁ノ公債ヲ英  
 國ニ募リシニ之ニ應スル者幾ント壹千万旁ノ負額ニ  
 上レリ維新戦乱ノ後ヲ承ケ百事草創ノ政府ニシテ外  
 人ノ信用猶且ツ然リ況レヤ爾來財務日ニ整齊スル明  
 治十三年ノ政府ハ外人ノ信用決シテ復タ前日ノ比ニ  
 アラサルナリ而テ英國ノ金利ハ其低下ナルヲ猶ホ前  
 日ノ如シ故ニ今日六分ノ利子ト九拾五旁ノ賣價トヲ  
 以テ壹千万旁ノ公債ヲ起スモ其事頗ル易々ナルヘキ  
 ナリ然レモ今假ニ其利子ヲ七分トシ其賣價ヲ九拾五  
 旁トシ償還期約ヲ二十五ヶ年トシ以テ我カ通貨五千  
 万圓ノ負額ヲ募集スルハ則テ左ノ如シ

募集称呼額

一〇、五二六、三一五旁

賣價實額

一〇、〇〇〇、〇〇〇旁

我邦ノ正貨ニ當ルル其額計五〇、〇〇〇、〇〇〇圓  
 然レ募集称呼額ノ利子幾トシテ其額計七三六、八四二旁  
 我邦ノ正貨ニ當ルル其額計三六八、四二一〇圓  
 斯ノ外債ヲ募集シテ以テ先ツ五千万圓ノ正貨ヲ得ヘ  
 第三國庫儲存ノ正金ヲ募集ノ外債金ニ合  
 現時政府ノ準備金五千余万圓ノ中ニ就キ國庫ニ現在  
 スル金銀貨幣及ヒ地金并ニ新舊銅貨ノ合計ハ壹千四  
 百壹万圓ニシテ此他人民ニ貸與セル分ハ本年中ニ返  
 償スヘキ者等亦タ三百四拾九万余圓アリ故ニ本年中  
 ニ於テ國庫ニ儲存スルノ總額ハ則チ壹千七百五拾万  
 圓ニシテ是ノ總數ヲ外國募集ノ五千万圓ニ合スルハ



ハ則千六千七百五十萬圓ノ負額ナリ故ニ今正貨壹圓ヲ以テ之ヲ紙幣壹圓ニ交換スルモ猶ホ六千七百五十萬圓ノ紙幣ヲ消却スルヲ得ヘシ然レモ紙幣ノ市價低落スルノ今日ニ於テハ六千七百五十萬圓ノ正貨ヲ以テ能ク七千八百萬圓ノ紙幣ニ交換シ得ヘキナリ正貨壹圓ヲ以テ紙幣壹圓拾五錢五厘五毛ニ交換スルノ割合斯ノ如クシテ紙幣流通ノ總額壹億五百三十萬圓ノ中ヨリ七千八百萬圓ヲ交換シ尽スルハ其剩殘セル負額ハ僅ニ貳千七百三十萬圓ニ過キサルナリ而テ之ヲ消却スルノ處置ハ次章ニ陳説スルカ如シ

第四 銀行ノ抵當公債証書ヲ變更スル事

現時銀行ヨリ發行スル紙幣ノ抵當ニハ皆尋常ノ公債証書ヲ用ヒシメタリ而テ其價格ハ本年三月ニ於テ三

千四百四十萬圓ナリ故ニ今若シ是抵當法ヲ變更シ更ニ金札引換公債証書ヲ以テ之ニ代シタルナリト為サハ各銀行ハ政府ニ向テ三千四百四十萬圓ノ紙幣ヲ納齎シ以テ金札引換公債証書ヲ請求スヘシ是ニ於テカ政府ハ是公債証書ヲ附與シテ容易ニ三千四百四十萬圓ノ紙幣ヲ斷截スルヲ得シ然レモ正貨ヲ以テ交換スル紙幣ノ剩額ハ貳千七百三十萬圓ニ過キヌ又本年度中ニ剩殘セル備蓄金九拾餘萬圓ヲ金札引換公債証書ニ變スル片ハ銀行ノ抵當公債ヲ變更セシムルハ唯貳千六百四十萬圓ニシテ足レリ斯クシテ幾分ノ紙幣ヲ消却シ又幾分ヲ正貨ニ交換スル片ハ政府發行ノ流通紙幣ハ悉皆交換消却シテ遺コス所ナキ了左表ニ計上スルカ如シ



金札引換公債ヲ以テ引揚ル紙幣ノ負額 二七、三三〇、〇〇〇圓

正貨ニ交換シテ引揚ル紙幣ノ負額 七八〇、〇〇〇、〇〇〇圓

紙幣引揚ノ總額 一〇、五三三〇、〇〇〇圓

流通紙幣ノ總額 一〇、五三三〇、〇〇〇圓

是他ニ流通スル紙幣ハ唯銀行ヨリ發行セル者ニシテ其負額三千三百七拾万圓ナリ銀行紙幣ハ本ト需求ニ應シテ正貨ト交換スヘキノ性質ヲ有スル者ナリト雖モ邦内ニ於テハ紙幣専用ノ時世ナリシヤ故ニ政府發行ノ紙幣ト交換シテ以テ其義務ヲ果タスノ制ヲ設ケタリ然レモ世間流通ノ貨幣已ニ正金銀ニ變スルハ銀行紙幣ハ則亦夕正金銀ト應需交換ノ義務ヲ負荷スヘキニ無論ナリ然ルハ三千三百七拾万圓ノ銀行紙幣ハ則チ通用正貨ノ代券タルニ過キス故ニ政府發行

紙幣ノミヲ消却交換シ尽スルハ全國ノ通貨ハ悉皆正金銀ニ一變シタルノ理ナリトヲ知ルヘシ

第五 正貨通用ニ變スルモ通貨過少ノ憂ナ

以上ニ陳述スルカ如ク流通紙幣ノ總額中ヨリ貳千七百三拾三万圓ヲ消却シ又七千八百万圓ヲ正貨ニ交換スルハ全國ノ通貨ハ俄カニ六千七百五拾万圓ニ縮減シタルノ有様ナリ是ノ餘尚ホ銀行紙幣三千三百七拾万圓アリト雖モ正貨ト應需交換ノ性質ニ變更スル以上ハ少クトモ其發行額五分ノ一ハ正貨ヲ儲峙セザルヘカラス故ニ全國通貨ノ總額ハ政府發行ノ正貨ト銀行紙幣五分ノ四トヲ合算セシ者ニシテ其計數ハ左表ノ如シ



政府發行ノ正貨

六七、五〇〇、〇〇〇圓

銀行紙幣五分ノ四

二六、九六〇、〇〇〇圓

全國ノ通用貨幣總額 九四、四六〇、〇〇〇圓

故ニ是方法ヲ難スル者或ハ通貨ノ過少ニシテ工商ノ諸業ニ不利ナルヲ疑ハシ然レハ正貨通用ノ時世ニ變スル中ハ舊時ニ隱伏セシ正貨自ラ現出通用ノ勢ヲ生スヘシ今若シ新貨幣ノ鑄造額ト其輸出額トヲ對比スレハ猶ホ邦内ニ留存埋隱スル所ノ計數左表ノ如シ

造幣起業ノ初年ヨリ十三年ノ

始ニ至ル迄ノ新貨鑄造額

八七、六九〇、〇〇〇圓

同輸出額

三四、九八〇、〇〇〇圓

差引邦内ニ留存スル額

五二、七一〇、〇〇〇圓

新貨ノ留存額ト募集ノ外債金ト銀行

紙幣五分ノ四トヲ合算スル全國通貨ノ總額 一四七、一七〇、〇〇〇圓

右ノ表ニ依ル中ハ現時ノ紙幣流通額ニ比シテ猶ホ幾分ノ超過アルヲ見ルヘシ況シヤ市價低落セル今日ノ紙幣實價ノ總額ニ比スル中ハ尚ホ更ニ正貨通用ノ過多ナルヲ知ラシ又古金銀ノ概計ト其輸出シ或ハ改鑄セル負額トヲ計較スルニ今猶ホ壹億貳千三百拾六万圓ヲ儲存スルノ割合ナリ然レハ是等ノ計數ハ其精確ヲ証シ難キ者ニシテ今假ニ是額ノ半ト為スモ尚ホ六千百五拾八万圓ノ負額アリ是等ノ金銀全ク隱伏シテ現ハレサル所以ノ者ハ他ナシ紙幣金銀時有テ昂低シ浮沈定ラサルカ故ニ苟モ餘財アル者ハ則チ金銀ニ交換シ以テ藏蓄ヲ謀レバナリ然レハ今ヤ金銀邦内ノ通貨タルニ至レハ其之ヲ旧時ニ藏蓄セシ者モ亦ク自ラ



使用ノ念ヲ生セン果シテ然ラハ流通ノ貨幣決シテ壹億四千七百拾七万四ニ止ラス是ノ埋藏セル者ヲ併セテ遂ニ貳億八百七拾五万四ノ巨額ニ増加スルヲモ得ヘキナリ

第六 外國債及金札引換公債ノ利子ヲ支辨スル事

斯ク金銀<sup>ヲ</sup>通貨トシ全國ノ幣制ヲ一變スルノ道アルモ紙幣ニ交換スル五千万四ノ外債ニ八年々三百六拾八万四ノ利子ヲ支出セサルヘカラス又貳千七百三拾三万四ノ紙幣ヲ消却スル金札引換公債ニ八年々百六拾四万四ノ利子(六分ニ當ル)ヲ支出セサルヘカラス今我カ國カト政府ノ會計トニ於テ果シテ是ノ五百三拾貳万四ヲ毎歲支弁シ得ヘキヤ否ヤヲ思考スル片ハ其

事決シテ至難ニ屬セサルナリ何トナレハ歐米諸邦ニ比スルニ本邦ノ事物ハ尚課税ヲ免ル者多ク課税ヲ被ル者ト雖モ其割合未タ甚タ多カラサレハナリ近ク之ヲ例セハ酒煙草ノ如キ奢侈品モ尚ホ能ク許多ノ歲入ヲ今日ニ増加スルヲ得ヘシ今且ツ酒税ノミニ就テ歲入増加ノ手段ヲ陳述セン當時酒税ノ總額ハ概數五百八拾五万四ニシテ其中四百七拾三万四ハ則釀造税ノ收入ナリ今若シ釀造税ヲ增課シ壹石壹四ノ税額ヲ更メテ更ニ之ヲ壹石三四ト為ス片ハ則壹千四百拾九万四ヲ得ヘシ然レモ重税ノ為ニ二割ノ釀造ヲ減スルト假想スル片ハ其實収額壹千百三拾五万四ニシテ現釀造税額ニ對シ則チ六百六拾貳万四ノ増加ナリ故ニ獨リ是新增額ヲ以テ尚ホ能ク新募ノ外債及金札引換



内債ノ利子合計五百三拾貳万四ヲ毎歳支辨シテ餘剩アリ又是他當時遵行スル減債方案中ニハ紙幣消却ノ為メ毎歳平均貳百万四ヲ支出スルノ割合ナレト正貨通用ノ方法ヲ施行スルニ至レハ是貳百万四ハ年々他ノ費途ニ支消スルヲ得ヘキ者ナリ然ラハ則減債方案中ノ紙幣消却資金ト酒類醸造税ノ新增額トヲ合算スル片ハ紙幣消却ノ為ニ募集スル内外公債ノ利子ヲ支弁シテ尚ホ幾分ノ餘贏ヲ存スル丁左表計數ノ如キナリ

|               |             |
|---------------|-------------|
| 釀造税ノ増額        | 六、六二〇、〇〇〇 円 |
| 毎年紙幣消却ニ充ツヘキ資金 | 二、〇〇〇、〇〇〇 円 |
| 合計            | 八、六二〇、〇〇〇 円 |
| 新募内外債ノ利子      | 五、三二〇、〇〇〇 円 |

右ニ陳述スルカ如クナレハ則テ是ノ利子ヲ支辨スル難カラサルヲ知ルヘシ  
第七 是方案施行ノ後國債總計ノ結果如何以上ノ方案ヲ實施スル片ハ内外公債増減ノ結果則左表ノ如シ

| 現時ノ額        | 新法ノ額        | 新額ノ増減         | 有利債ト無利債ノ結果ハ左ノ如シ |
|-------------|-------------|---------------|-----------------|
| 現時ノ額        | 現時ノ額        | 新額ノ増減         | 有利債ト無利債ノ結果ハ左ノ如シ |
| 三、五二五、〇〇〇 円 | 二、六八三、〇〇〇 円 | 減 八、六二〇、〇〇〇 円 | 有利内債            |
| 一、八二〇、〇〇〇 円 | 三、三七、〇〇〇 円  | 増 五、〇〇〇、〇〇〇 円 | 無利内債            |
| 三、六三三、〇〇〇 円 | 三、三六、〇〇〇 円  | 減 三、二九七、〇〇〇 円 | 有利外債            |
| 三、三二〇、〇〇〇 円 | 三、三二七、〇〇〇 円 | 減 三、二九七、〇〇〇 円 | 有利合計            |
| 三、三二〇、〇〇〇 円 | 三、三二七、〇〇〇 円 | 減 三、二九七、〇〇〇 円 | 無利合計            |
| 三、三二〇、〇〇〇 円 | 三、三二七、〇〇〇 円 | 減 三、二九七、〇〇〇 円 |                 |



新法ノ額 二五五九六〇〇〇〇円  
 新額ノ増減 増 二七、三三〇、〇〇〇円  
 古ノ表ニ依レハ是方案ヲ施行スルニ因テ無利債七億  
 七千三百四拾萬円ヲ減シ有利債七千七百三拾三萬  
 四千増セシト雖モ内外公債ノ總額ニ於テハ則チ三千  
 六百九萬四千元減シタリ唯有利増加ノ一事少シク不  
 利ナルニ似タリト雖モ我ク國カト政府ノ會計トニ於  
 テ之ヲ支辨スルノ容易ナルハ則チ上章ニ陳述スルカ  
 如シ斯ク全國ヲ正貨通用トシ又三千六百萬円ノ  
 國債ヲ減シ政府ノ國庫ニ尚ホ三千餘萬ノ準備金ヲ  
 儲存スルヲ得政府ノ會計尚ホ餘裕アリト云フヘキナ  
 リ  
 今ヤ海外貿易ノ狀勢ニ於テ金銀ノ輸出入權衡相称ハ

ト毎年平均六百餘萬円ノ輸出ヲ超過シ從テ邦内ノ金  
 銀ヲ乏少ナラシメ工高諸業ノ衰替ヲ來サントスルノ  
 危勢ナルニ際シ今又新ニ外債ヲ募テ巨額ノ利子ヲ年  
 々海外ニ支出スルハ金銀輸出入ノ不平均ヲシテ轉  
 タ急劇ノ勢ヲ添ヘシムルニ似タリ是レ或ハ是方案ヲ  
 難スル者ク過慮スル要点ナルヘシ然レモ今若シ事物  
 利弊ノ輕重ト募債ノ為メ海外支出ヲ増スヘキ實際ノ  
 金額トヲ計較シ來ルルハ實ニ是方案ノ萬々已ムヘカ  
 ラサル理由アルヲ知ルヘシ夫レ新募外債ノ利子ハ其  
 額三百六拾八萬餘円ニシテ金銀輸出ノ超過ニ是金額  
 ヲ添加スルカ如クナレモ實際必シモ然ルニアラス何  
 トナレハ外國旧公債全償ノ期日既ニ來年度中ニ在リ  
 故ニ十四年度以降ハ每歲是カ為メニ海外輸送ニ係ル



金額七拾余万圓ヲ減少スヘシ是ノ負額ハ則チ新輸出  
支辨ノ利子三百六拾八万圓中ヨリ除算スヘキ者ニシ  
テ是方案施行ノ為メ金額ノ輸出ヲ實際ニ増加スヘキ  
負額ハ則チ貳百九拾余万圓ニ過キサルナリ又他ノ一  
方ヲ顧レバ貿易不平均ノ致ス所トハ云テナカラ紙幣  
金額ノ格位乱動浮沈シテ定マラズ遂ニ諸物價ノ變動  
ヲ醸成シ生計下等ノ人民ヲシテ感ハ窮苦ノ嘆聲ヲ發  
セシムルノ危境ニ達セントス而ルニ今ヤ僅々貳百餘  
万圓ノ金額輸出ヲ増加シテ以テ世運ノ為メニ紙幣通  
用ヨリ生スル此等ノ不利ヲ除却スルヲ得ハ是レ豈得  
多シテ損少キ者ニアラスヤ利弊相ニ伴ラハ世事ノ常  
數ニシテ邦國為政ノ責ニ任スル者ハ唯其輕重如何ヲ  
計較深慮スヘキナリ且ツ當時諸般ノ業務ニ関シ政府

ヨリ金額ヲ海外ニ輸送スル者毎歲五百餘万圓ニ下ラ  
ス是レ皆行政上必要ノ費途ナリト雖モ若シ深ク其緩  
急大小ヲ考慮スルハ其中宣亦タ幾分ノ減省スヘキ  
者ナカラシヤ果シテ然ルヲ得ハ外債募集ノ為メ新ニ  
金額輸出ヲ増加スヘキ負額或ハ貳百万圓以內ニ下ラ  
ンモ亦タ未タ知ルヘカラサルナリ  
貿易ノ權衡其予ヲ失シテ金額年コトニ外出シ邦内ノ  
金額乏少ナルノ極度ニ於テ通貨ニ對シ物價低落スル  
ノ時ハ金額再ヒ邦内ニ復歸ス是レ理財ノ定法ナリト  
雖モ紙幣通用ノ時世ニ在テハ一種異様ノ狀態有テ是  
爭容易ニ望ムヘカラサルナリ抑金額乏少ノ為メニ金  
銀ニ對シテ紙幣落下スルハ物品モ亦金額ニ對シテ  
落下スヘキノ事理ナリ是レ金額ハ獨リ紙幣ニノミ對



レラ乏サナルニアラハ物品ニ對シテ亦タ乏サナレハ  
ナリ故ニ今日金銀乏少ノ原因ヨリ紙幣落下ノ結果ア  
レハ物品モ亦タ同一ノ結果アラサルベカラズ紙幣ニ  
對シテ金銀五割ノ昂貴ヲ生スレハ物品ニ對スルモ亦  
タ五割ノ昂貴ヲ生シタルナリ故ニ紙幣物品相与ニ金  
銀ニ對シテ落下スルモ物品紙幣ノ間ニ昂低ノ差等ア  
ルハカラサルナリ斯リノ如クナレハ金銀ヲ以テ購賣  
スル外國品獨リ其價ヲ貴クシ紙幣ヲ以テ購賣スル内  
國品ニ比較シテ五割余ノ高價ナルヲ故ニ輸入減少シ  
テ輸出増加シ金銀速ニ邦内ニ復歸スヘキニ今ヤ紙幣  
ニ對シテ金銀五割ノ昂貴アレハ内地ノ物品モ亦タ紙  
幣ニ對シテ五割ヲ昂貴ス故ニ金銀ヲ以テ購買スル外  
國品モ内國品モ均ク五割ノ昂貴ニシテ其間ニ昂低ノ

差アルヲナシ故ニ金銀再ニ邦内ニ復歸スルノ道ヲ失  
フ金銀ト内國物品ト其昂貴スルノ遲速割合ニ於テハ  
固ヨリ先後多ク差異アリト雖モ其昂貴ヲ同クスル  
ノ跡アルハ世人ノ知ル所ナリ唯金銀ノ昂貴ハ前ニ在  
テ内國物品ノ昂貴ハ少ク之ニ後ルハ故ニ甲貴ク乙  
未タ貴カラサルノ時間ニ於テノニ輸入減シ輸出増加  
ノ形象ヲ現スレハ内國ノ物品其價直ラ昂上レ来ルハ  
ハ輸入ヲ抑制スル所ノ者又忽チ消滅シテ依然旧様ニ  
復歸ス斯ク金銀ノ昂貴ト与ニ物品其價ヲ進ムルノ極  
度ニ於テ紙幣ノ實價非常ニ減シテ夫ノ通貨過少ナル  
ト同一ノ結果ヲ生シテ利息今日ニ幾陪スルニ至ラハ  
始テ天然回復ノ定法ニ依リ金銀再ニ邦内ニ復歸スヘ  
シト雖モ斯ク回復ノ甚タ遲緩ナル所以ハ紙幣通用ノ



時世ナルニ因ルナリ又前段ニ陳述スル有様ナルカ故  
ニ天然回復ニ至ル迄ノ歳月中ニ於テ物價ノ變動ハ其  
幾回ナルヲ知ルヘカラス是ノ變動毎トニ人民ハ物品  
授受ノ上ニ於テ常ニ不正ノ損益ヲ被リ又下等生計ノ  
者ヲシテ困迫ノ状勢ニ陥落セシムルヲ免レヌ是亦  
紙幣通用ノ不利ナリ故ニ今若シ幸ニ正貨通用ノ時世  
ニ變スルヲ得ハ天然回復其事甚々速ニシテ而テ又物  
價乱動ノ憂ヲ免レシ然ラハ則是ノ一事ニ就テ論スル  
モ正貨通用ノ紙幣通用ニ優レルト万々ナリ  
然レハ紙幣通用ノ時世ト正貨通用ノ時世トニ拘ラス  
通貨之少ニシテ邦内ノ金利其最高度ニ昂上シ工商諸  
業ノ滋難ヲ極ムルノ日ニアラサハ海外ノ金銀決シ  
テ邦内ニ復歸スヘカラス故ニ天然回復ナルモノハ算

ニ金銀ヲ邦内ニ復歸セシムル迄ニシテ其間多少業務  
ノ縮減ヲ醸生ス然ラハ則テ仮令モ金銀ノ復歸ヲ得ル  
モ是レ豈快望スヘキノ事ナランヤ然ルニ今ヤ天然回  
復ノカヲ借ラスシテ金銀輸出入ノ平均ニ属望スヘキ  
者アリ即チ海關稅則ノ改正是ナリ是改正案ニ於テハ  
輸入稅ノ平均一割三分余ニシテ曰稅ニ比スレハ則九  
分余ヲ増加シ又輸出ノ曰稅ハ平均四分ニシテ新案ハ  
之ヲ全廢セリ從來ノ經驗ニ依ルニ九分ノ増稅ハ輸入  
ノ割割五分ヲ減シ又輸出四分ノ廢稅ハ其五分ヲ増ス  
ヘレ則チ輸入ノ總額ハ貳千七百六拾余万圓ニ減シ輸  
出ノ總額モ亦千貳千七百六拾余万圓ニ進ムヘクシテ  
以上ハ最近二ヶ年ノ平均額ヨリ加除セシ算程ナリ之  
ヲ對照比較スルハ則チ輸出入其平均ヲ得ルニ近シ



又輸入額ノ増進ト輸出額増進ノ割合トヲ比照スルハ  
ハ輸入ハ明治二年ヨリ十一年迄十年間ニ二ト三トノ  
割合ヲ以テ進ミ輸出ハ一ト二トノ割合ヲ以テ増加セ  
リ然ラハ則チ爾後十年間此割合ヲ以テ増進セハ輸入  
ハ四千八百八拾余万圓ニシテ輸出ハ五千貳百六拾余  
万圓輸出ノ輸入ニ超過スルヲ三百七拾余万圓ニ至ル  
ヲ得ヘキナリ然ルハ人為ノ助長ニ頼ラス天然増進  
ノ力ニ於テ輸出ハ輸入ニ對抗スルキヲ勢アルニ際シ  
今又税則改正ノ手段以テ之ヲ助長スルアラハ数年ヲ  
出テハ海外貿易上ニ於テ輸出ハ輸入ニ超過スルノ好  
結果ヲ呈スヘシ況ンヤ其平均ヲ得ルノ容易ナルニ於  
テヤ後來豫想ノ形状斯ノ如キ者是レ則正貨通用ノ  
為ニ輸入ヲ誘進スルノ憂ナシトスル所以ナリ

若シ金銀價ノ昂貴ヲシテ獨リ紙幣ノ増發ニ起因セシ  
メハ今日ノ政策タル單ニ紙幣ヲ消却シテ可ナリ然レ  
ハ一再建議セル書中ニ述レ如ク其實因ハ紙幣増發ニ  
アラスシテ而テ金銀ノ乏少ニ基ス是則正貨通用ノ政  
策以テ止ムヘカラサル所以ナリ凡ソ前段ニ於テ縷述  
セル條件ハ實事豫想相半ハスト雖モ既往ノ事以テ將  
來ヲ徵スルニ足レリトスルハ是方案ノ以テ國家ヲ  
利スヘキ者又疑ヲ容レサルナリ然リト雖モ税則改正  
ノ如キ其事成ルニ垂ントシテ而テ未タ結落ニ至ラス  
正貨通用ノ政策果シテ施行ヲ決スルハ金銀外出ノ  
事猶ホ非常ノ注意ヲ要ス海外支出ノ金銀ヲ節減スル  
ノ一事政務上ニ於テ念々忌ル可ラサル者ナリ



